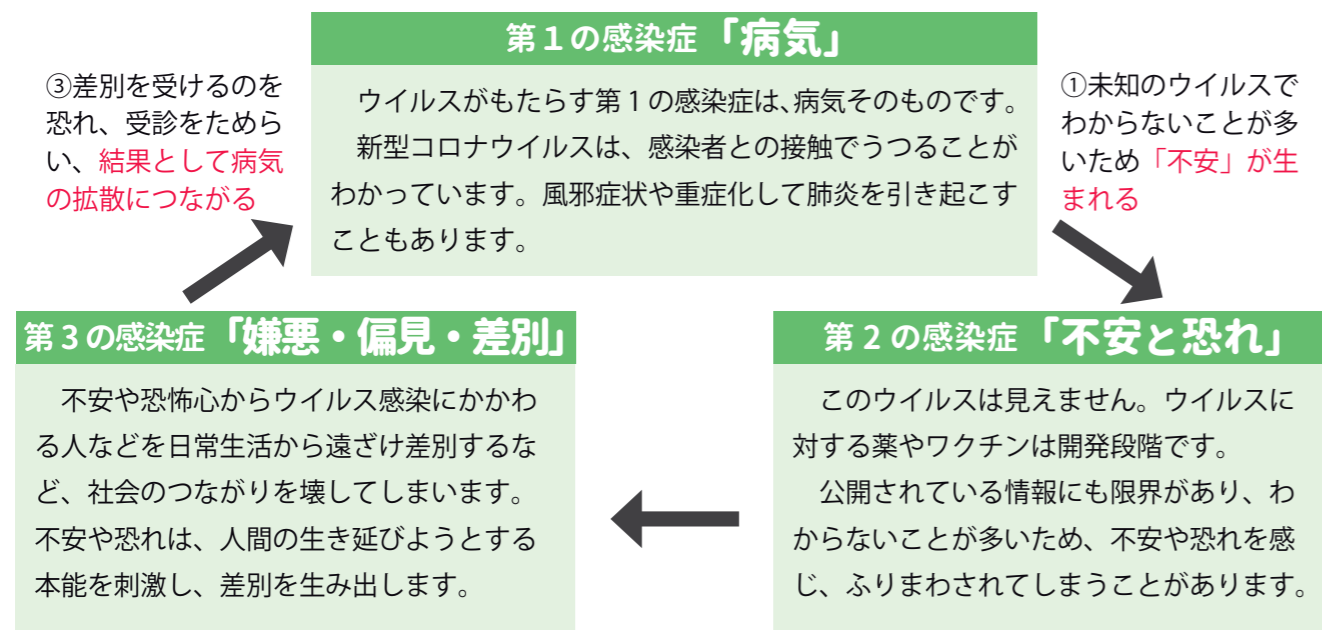




～やさしい気持ちでみんなで乗り越えよう～
STOP! コロナ差別

新型コロナウイルス感染症の感染者が増加する中で、全国では感染者やその家族、周囲の人への差別や誹謗中傷が問題になっています。不確かなうわさや差別に振り回されないよう冷静な行動や言動をこころがけることが大切です。思いやりのある、暮らしやすい国見町をみんなで目指しましょう。

負のスパイラルを断ち切るために～3つの「感染症」を理解しよう～



②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

3つの感染症（病気・不安・差別）をみんなで乗り越えていくためにできること

第1の感染症（病気）を防ぐ

- 1人ひとりが感染予防を徹底する
感染予防をこころがけることは自分のためだけでなく周りのひ人のためにも大切なことです。

第2の感染症（不安と恐れ）を防ぐ

- 「気づく力」を高める
今の状況を整理し、考え方、気持ち、ふるまいなど自分自身をいろんな角度から観察してみましょう。
- 「自分を支える力」を高める
安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択しましょう。
- 「聴く力」を高める
ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかと感染症と結び付けて考えたりしていませんか。

第3の感染症（嫌悪・偏見・差別）を防ぐ

- 「確かな情報」を広める
さまざまな情報があふれる中、確かな情報を見極め、不確かな情報を不用意に広めないようにしましょう。
- 差別的な言動に同調しないようにする
不安をあおることは病気に対する偏見や差別を強めることとなります。

【新型コロナウイルス対策室を設置】

町では1月1日付で、新型コロナウイルス感染症の対策や相談などの業務をワンストップで対応するとともに、感染症対策を迅速かつ柔軟に対応していくため保健福祉課に「新型コロナウイルス対策室」を設置しました。

主な業務の内容としては、新型コロナウイルス感染症予防対策及び発生時の対応に関することなどです。

保健福祉課新型コロナウイルス対策室
☎ 585-2179

参考：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」

特に **新型コロナウイルス感染症対策**
こんな場面に注意を!

気温や湿度の低下に伴い、国内でも新型コロナウイルス感染症の感染者が増え続けています。不安な面もあるかと思いますが、まずは落ち着いて冷静かつ慎重な行動を取ることが何よりも重要となります。今後も引き続き、次の感染防止対策の徹底・継続をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意し、「マスク着用・三密回避」「室内換気」「会話は静かに」「集まりは少人数・短時間」「手洗い・アルコール消毒」「体調不良時、発熱時は出かけない」などの感染防止の基本を徹底しましょう。

～感染リスクが高まる「5つの場面」～

場面① 飲酒を伴う懇親会など



- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食



- 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話



- マスクなしに近距離で会話をする中で、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活



- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり



- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。